事務局便り

第８４号（令和２年４月）

【英霊に敬意を！日本に誇りを！】

近畿偕行会

巻頭言

武漢肺炎が猛威を振るい、国内外ともに大混乱、各種行事も軒並み中止。寂しい事務局便りとなりました。４月以降の行事が予定通り実施できるように祈るのみです。元凶が被害国面せんとする「中共」・・・本当に困った害国ですね！！

今期間（４月～５月）は、昭和殉難者法務死追悼年次法要と総会があり、執行要員は手落ちが無い様に、またご満足頂ける様に多忙な中にも細心の注意を以て準備を致します。

一人でも多くの会員、草莽の士の参加をお待ちしております。

また、新入会員の皆様には、心から感謝と歓迎を申し上げますと共に、ご協力の程よろしくお願い致します。(加賀本)

案内事項

高野山昭和殉難者法務死追悼年次法要案内

４月２９日（水・昭和の佳節）午前１１時から第２７回昭和殉難者法務死追悼年次法要を高野山奥之院の慰霊碑前で執り行います。

御導師 高野山真言宗管長総本山金剛峯寺 座主葛西光義猊下、各寺院御導師の御出仕を頂き、祭主は近畿偕行会会長 加賀本昭雄並びに昭和殉難者法務死追悼碑を守る会会長 築野富美で、先の大戦で係る戦争裁判により、尊い犠牲になられたご英霊一千百八十余柱の御霊に哀悼の意を捧げたいと思います。

多数のご参列をお願い致します。

また、前日の２８日、蓮華定院での宿泊をお受けできますので、ご希望の方は熊谷事務局長(Tel:078-952-3063)までお申し出いただければ、手配いたします。

担当　熊谷

令和２年度総会開催案内

令和２年度の総会を下記により実施致します。

１．日　　時

　５月１４日（木）１０：００～１５：００

２．場　　所

「THE ORIENTASL GARDEN OSAKA」（昨年と同じ場所ですが新館「パークルーム」）です。

ＪＲ大阪城北詰駅３番出口を右へ徒歩２分

（３番出口に案内係を配置します。）

３．行事次第

Ⅰ．総　　会：１０：００～１０：３０

Ⅱ．陸上自衛隊中部方面音楽隊演奏

　　１０：４０～１１：２０

Ⅲ．記念講演：１１：３０～１２：３０

講師：中部方面総監　野澤　真　陸将

演題：「　未定　」

Ⅳ．懇親会：１２：５０～１５：００

料理は「THE GARDEN ORIENNTAL OSAKA」自慢のイタリア料理です。昨年も好評の料理と飲み放題をご堪能下さい。

参加費は１０，０００円（女性は８，０００円です）

参加希望者は、同封の「払込取扱書」で５月８日（金）までにお振込下さい。

メール配信の方は、メールまたは電話で参加の有無を事務局までご連絡下さい。振込み頂ける場合は、近畿偕行総会（00930-7-39171）宛でお願いします。また、各種行事・会合等でお会いできる方は、現金お手渡しで納入願えれば幸甚です。

会員以外の方の参加も歓迎いたしますので、志ある方にもお声掛け下さい。

担当　加賀本

令和２年度第１回理事会

令和２年度第１回理事会を４月１６日（木）

１６００～１７００で開催を予定しております。理事の方には、別途ご案内致します。万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。
なお、出欠のご連絡は、４月８日（月）までに熊谷までご連絡ください。
Tel.：078-952-3063　携帯：090-3844-3296
Mail：dfquk007@kcc.zaq.ne.jp
理事会後、１８：００から４月の勉強会が予定されています。
担当　熊谷

４月度（中止）・５月・６月度　歴史研究会

武漢肺炎蔓延による予定変更により迷惑をおかけしております。状況悪化により**４月度は、中止**とし、以下順延し、５月・６月度を以下で予定します。ご参加をお待ちしております。
会員以外の方でも参加できます。お声掛けください。また、ライフワーク等の研究発表の場としても大いにご活用下さい。
場所は、神戸大学凌霜クラブ(06-6345-1150)
大阪駅前第１ビル 11 階南側です。
講義・ディスカッション後、軽食懇親会をします。多くの方のご参加をお待ちしております。
参加を希望される方は、食事準備の都合もありますので、２日前までに加賀本までご連絡ください。必要費用は、軽食会食費代で３０００円程度です。
担当　加賀本
℡：072-785-8954　携帯 090-1241-8877
Mail：akio@room.ocn.ne.jp
【なお、両月度とも、メール通信者には後日、資料を送付します。それ以外の方で欲しい方は、メールアドレスをお知らせ下されば送付します。】

５月度

日時：５月２８日(木)　１８～２０時
【理事会開催の為実施日が第３木曜日の１６日になりますのでご注意ください】
内容「知ってはいけない現代史の正体」です。
小野寺顧問に担当して頂きます。
著者は、馬渕睦夫氏です。
「誰が戦争を望み、利を得てきたか」そこから、本当の歴史が見えてくる。
グローバリストに歪められた「偽りの歴史」すなわち、国際金融資本「ディープステート」によって歴史はいかに都合よく捻じ曲げられてきたか、世界を操る「ディープステート」はいかにして生まれたのか
本当の黒幕勢力として「ディープステート」が存在するのだということを理解しなければ、国際情勢を理解することはできません。
そこを抜きにして、米朝関係はこれからどうなるのか、米中の貿易戦争はどうなるのか、あるいはプーチン大統領の運命はどうなるのかなど、
そういったことをいくら議論しても隔靴掻痒になってしまいます。
対米戦争からさかのぼり、混迷する現在まで。教科書には書かれない真実の現代史。を暴く！
ディープステートつまり世界の真の支配者の原点は、ある勢力がある時期、アメリカの重要な部分を牛耳ったことにあります。
アメリカの重要な部分とはつまり、「金融」と「司法」と「メディア」です。
ある勢力がまず「金融」を牛耳って、ディープステートが基盤を固めたその発端は、２０世紀初頭、１００年ほど前に遡るそうです。
歴史の真実を知り、大いにディスカッションしましょう。

６月度

日時：６月２５日(木)　１８～２０時
内容：『仏教の経典と基督（キリスト）教の聖書における共通内容と日本における聖書の中の似姿』です。
賛助会員豊浦義友氏に担当して頂きます。
「仏経と聖書」その中に記された共通の内容を紹介し、宗教の眞の目的を再確認しましょう。

また聖書の中の事柄と日本の伝統行事の類似性を紹介されます。
新しい分野、観点からの講義を聞き、大いにディスカッションしましょう。

令和２年度会費納入のお願い

大半の会員の方には早速、ご納入を頂き有難うございました。
会費は、近畿偕行会の活動を円滑かつ効果的に運営するための軍資金です。まだ納入されておられない方は、８３号に同封の「振込取扱票」にて、メール会員の方は、「近畿偕行会（00900-6-29358）」宛に、振込みの程、宜しくお願い致します。
担当　加賀本

会員増勢のお願い

ご遺族・戦友が亡くなられて行く中、戦没英霊慰霊の灯を消してはなりません。国のため命を捧げた英霊に対する感謝を忘れ、祖国への誇りを持てない国民、その国は亡びると言います。
令和元年度末で、会員数は１４０を割りました。
「英霊に敬意を！日本に誇りを！」をモットーとする崇高な使命を有する近畿偕行会を潰してはなりません。何としても盛り上げねばなりません。
解決策は、一に、会員の増勢を図る他ありません。
◎帝国陸軍関係会員の皆様には、ご子弟、お孫さんを家族会員に！！
◎自衛隊ＯＢ会員の皆様には、同期生・後輩を正会員に！！子弟を家族会員に！！
◎本会の趣旨に共鳴する、身近にいる、志ある草莽の士を発掘し、賛助会員に！！
ご協力を衷心よりお願い致します。
担当　加賀本

報告事項

軍神緒方中佐慰霊碑清掃・慰霊行事

３月１５日（日）１１：００から神戸市中央区の再度山太龍寺に所在する「軍神緒方中佐」の慰霊碑清掃・慰霊行事を実施しました。
参加者は、陸上自衛隊八尾駐屯地修親会から中部方面航空隊隊長藤田尚樹１佐以下６名、近畿偕行会から田川顧問、加賀本、熊谷、西、渡邊美佐子女史兵庫県隊友会から阪神支部石飛支部長（元空自８６Ｆパイロット）の計１２名が参加しました。
今冬最後の寒波、５℃の肌寒さの中でしたが、心を込めて慰霊碑の水洗い清掃を実施しました。

後輩たちによる慰霊碑清掃

清掃なった慰霊碑

事後、熊谷事務局長の少しは上手くなった素人般若心経の読経の中、代表者による献花及び参加者一人一人の焼香により、軍神緒方中佐の功績を忍び、霊安らかなれと祈りを捧げました。
　その後、参加者一同は温かい休憩所に移り、昼食弁当をいただきながら懇親を深め、来年の再会を約して行事を終了しました。
因みに、慰霊碑が所在する太龍寺は、奈良時代に和気清麿が創建したと伝えられる観音霊場が起源であり、また、再度山という山の名は、弘法大師

が 804 年に入唐する際、船旅の安寧と学問成就を念じてこの山に参詣し、唐から戻った際、無事帰国できたことを感謝すべく、再度登山し、修行したとの伝説に由来すると言われています。

参加者揃い踏み

担当　加賀本・熊谷

会外行事参加報告・紹介案内

参加報告

陸上自衛隊現役幹部に対する広報教育

会員増勢のための偕行社施策として、陸上自衛隊現役幹部（数年後の退役予定者）に対する広報教育が逐次拡充されており、中部方面隊管内は当会が担当して中部方面隊業務管理教育受講者に対する教育を実施しております。

令和元年度２回目の広報教育を２月５日（水）５２名に対し、加賀本が実施しました。

それぞれ偕行社及び当会の目的・活動状況等を紹介し、幹部自衛官（将校）としての矜持を持って、共に活動しよう（偕行）と熱く呼びかけ、所望の成果を得たものと思料しております。

担当　加賀本

皇紀２６８０年紀元祭

２月１１日１１：００から我が国建国の地、橿原神宮に於いて、皇紀２６８０年紀元祭が勅使をお迎えして厳粛かつ盛大に挙行されました。

昨年の名残雪の状況と打って変わった、雲一つ無く抜けるような青空の下の暖かく素晴らしい紀元祭となりました。

昨年よりも多くの人出で、内拝殿前の４０００名の椅子席は超満員、入りきれない参列者は、外拝殿前広場にあふれ、国歌と紀元奉頌歌「雲にそびゆる高千穂の・・・」の大合唱、祖国の繁栄と安寧を祈る老若男女が如何に多いかを改めて実感した次第です。

抜ける様な青空の下「勅使」参進

当会から会長以下５名が参列しました。関西防衛を支える会の皆さんと共に濁りなき世の到来を祈りつつ、直会も楽しみました。

担当　加賀本

練習艦隊歓迎の夕べ（中止）

３月１６日（月）に予定されていた「練習艦隊歓迎の夕べ」は武漢肺炎蔓延のため中止となりました。

３月１４日（土）に江田島の幹部候補生学校を卒業した約２００名の幹部実習生の壮途を祝いたいところでしたが残念でした。

陰ながら、これから始まる厳しい航海実習の完遂とこれからの活躍を祈りましょう！

担当　加賀本

紹介案内

陸上自衛隊伊丹駐屯地創立記念行事（中止）

陸上自衛隊伊丹駐屯地創立６９周年記念行事が、

４月４日に予定されていましたが、武漢肺炎蔓延のため中止となりました。
例年、駐屯地が開放され満開の桜とイベント・模擬売店等で賑わう、春の市民憩いの場となっていたのに誠に残念なことです。
担当　加賀本

同期の桜を歌う会（中止）

三浦時生氏中心とする有志により、新生「同期の桜を歌う会」２回目が、４月４日、実施の予定でしたが残念ながら武漢肺炎蔓延のため中止となりました。
担当　加賀本

陸上自衛隊第３師団創立５９周年記念行事

陸上自衛隊第３師団創立５９周年・千僧駐屯地創設６９周年記念行事が、５月１７日（日）１０時２０分から千僧駐屯地で予定されています。
当日は、駐屯地は一般開放され、式典（観閲行進）・訓練展示の他、各種イベント・模擬売店等、子供さんも楽しめる行事が一杯です。無料で、入場も自由にできます。
多くの方が来場され、現役隊員達を激励して頂ければ幸甚です。
なお、当日は、JR 及び阪急伊丹各駅から千僧駐屯地間の送迎バスが運行されます。
担当　加賀本

和歌山偕行会便り

１．和歌山偕行会会長所感
「現在の世界情勢をどう観るか？ ＆ 家風をどう形成するか？」　殊に、１５世紀の大航海時代以降、世界歴史の変遷の結節時に、ユダヤ人・民族の果たした役割や影響は、極めて大きいと云わざるを得ません。古代とは違い、交通手段や通信手段等の飛躍的発達により、その役割や影響をより肥大化する傾向がある様に観察されます。大航海時代は大雑把に云って、宗主国と植民地間の物流が、世界経済の主体を成していました。そして、現在もその延長線上にあると云えましょう。私が愚考する限り、現代民主主義・資本主義は限界を迎えており、そして又、専制主義・全体主義も許されない時代になっています。世界情勢の機微なる変化を、把握するのは容易ではありません。世界で最も影響力のあるトランプ大統領の一般教書演説の内容にしても、各マスメディアにより、解釈がまるで違います。より真実に近いニュースソースを持つ必要性を強く感じます。私は、馬淵睦夫氏、伊藤貫氏及び高原剛一郎氏の分析を頼りにしています。世界情勢の潮流に応じて的確に対応可能な家庭環境を構築するのは、一家の主の大きい役目であると痛感する昨今です。　（奥野耕三）
２．和歌山「深山陸軍墓地」植樹
近畿偕行会「蜂須賀桜基金」から蜂須賀桜１５苗を和歌山偕行会に寄贈、深山陸軍墓地に植樹をしました。

植樹後の祈り

陸軍墓地護持深山会会長&和歌山市会議員　吉本昌純氏からお礼状が届いていますので、以下紹介します。
「先ずは、近畿偕行会の皆様に、深山陸軍墓地に植樹する蜂須賀桜１５苗をご寄贈頂きまして、厚く御礼申し上げます。去る２月１８日午前中に、深山会員、隊友会員、偕行会員の有志により植樹及び墓地の清掃を実施致しました。お国の為に散華されたご英霊も、きっとお喜びになると確信致

します。実は、深山は和歌山市から鬼門の方角になり、当地の祭・政をしっかりしないで、和歌山市の発展はないと云うのが、私の信念でもあります。深山墓地をしっかりお守りし乍ら、和歌山市発展の為に微力を尽くしたいと存じますので、今後とも宜しくお願い致します。取り急ぎ、御礼方々、ご報告申し上げます。」

担当　奥野

編集後記

令和２年度が始まりました。

担当者一同頑張りますので、本年度もご協力の程よろしくお願いします。当面は、「昭和殉難者法務死追悼年次法要」と「総会」の準備にバタバタしています。

今年は、暖冬といわれましたが、寒い日もありました。いよいよ春本番、本便りが着く頃には、例年よりも早く各地の桜も満開の事でしょう。

皆様、本年度もお元気で各種行事にご参加下さい！！！！

今回も、余白活用の満開桜の写真と駄文を載せました

担当　加賀本

春爛漫の姫路城

余白余談（忘れ得ぬ人々④）

【心に深き山男】

高校の修学旅行は高山から万座温泉・軽井沢・東京方面、三泊四日の旅だった。

一泊目は上高地、河童橋近くの宿に泊まった。

例によって前夜は遅くまで騒いだが、興奮していたからか、次の日の朝は早く目が覚めた。

外に出てみると抜ける様な晴天！　穂高連峰がくっきり！　梓川の清流で顔を洗ったりしていたが、「出発までに明神池へ行こう！」と悪友共数人の話がまとまり、朝食も早々に宿を出た。早朝の山の空気は殊のほか清々しかった。

高揚する気分でワイワイ言いながら歩いていると、小鳥のさえずりと共にどこかから「ヤッホー」という声、我々も「ヤッホー」と返していたが、そのうちふざけて「アッホー」とか「アホー」とか叫びながら歩いて行った。

何度目かに「アホー」と言った時、不意に、木立の間から大きなリュックを背負った二人の若い男が出て来た。それも顔中髭だらけの・・・

私達はギクッとしてたじろいだ。

殴られるかと思いきや「お早う！　元気のいい声を出していたのは君たちか、山は気持ちがいいだろう！　修学旅行かい、大いに楽しめよ！　じゃあ、さようなら！」と言ってしっかりとした足取りで去って行った。

私達は照れ隠しに、舌を出したり、頭を掻いたり・・・

その時の二人の山男の颯爽とした清々しい姿が、修学旅行の楽しい思い出と共に心に残りました。

その後、山好き（今で云う山ガール？）の伴侶を得て、転勤した各地の山に登りましたが、その時の二人の姿を思い浮かべながら、すれ違う人達と真面目な挨拶を交わしたものでした。

今や山登りもままならぬ身となりましたが、かの山男達は今も元気に山に登っているでしょうか？

（加賀本）

近畿偕行会

会 長　加賀本昭雄

編集責任者　熊谷　勉

〒651-1513 神戸市鹿の子台北町 3-1-4-201

Tel & Fax:078-952-3063

編集委員　加賀本　昭雄

〒664-0012 伊丹市緑ヶ丘 2-97

Tel:072-785-8954